

センターからのお知らせ

ヘリウムの利用法と供給報告

1. 液体ヘリウムの申込方法と受取方法

各地区の部局別の申込方法、受取方法を下記表に示します。所属する部局の場所と実際に実験を行う場所が異なる場合、実験を行う場所の申込方法、受取方法に従って下さい。

<青葉山地区>

※予約はなるべく使用予定日の1週間前までにお願いします。小型のクライオスタットを持参して極低温科学センター棟別館(旧理学部低温サブセンター)か工学研究科低温センターで液体ヘリウムを汲み出す場合にはそれぞれの場所へ申し込んで下さい。詳細は極低温科学センターのホームページ <http://www.clts.tohoku.ac.jp/aobayama/> の「受け取りと使用料金」を参照下さい。

部局名	申込方法	受取方法
理学研究科	Web サイトよりログイン http://www.clts.tohoku.ac.jp/aobayama/	各研究棟の決められた場所に極低温科学センターが配達します。又は極低温科学センター棟別館で受け取って下さい。
工学研究科		各研究棟の決められた場所に極低温科学センターが配達します。又は工学研究科低温センターで受け取って下さい。
薬学研究科		各研究棟の決められた場所に極低温科学センターが配達します。
その他の部局		各部局の決められた場所に極低温科学センターが配達します。

<片平地区、星陵地区>

※予約は使用予定日の2日前の16:00までにお願いします。詳細は極低温科学センターのホームページ http://www.clts.tohoku.ac.jp/katahira_seiryoku/ の「受け取りと使用料金」を参照下さい。

部局名	申込方法	受取方法
金属材料研究所*	Web サイトよりログイン http://www.clts.tohoku.ac.jp/katahira_seiryoku/	低温科学部オペレーター室に液体ヘリウム容器を受け取りに来た旨を伝えて受け取ってください。
電気通信研究所		各研究棟の決められた場所に極低温科学センターが配達します。
多元物質科学研究所		各研究棟の決められた場所に極低温科学センターが配達します。
原子分子材料科学 高等研究機構 [AIMR ラボ棟]		低温科学部オペレーター室に液体ヘリウム容器を受け取りに来た旨を伝えて受け取ってください。
原子分子材料科学 高等研究機構 [上記以外]		各研究棟の決められた場所に極低温科学センターが配達します。
その他の部局		各部局の決められた場所に極低温科学センターが配達します。

(* 金研強磁場超伝導材料研究センターで液体ヘリウムを利用する際は、金研受入教員の指示に従って下さい)

2. 供給報告

令和6年度に極低温科学センターが供給した全学の液体ヘリウムの使用量は約16万3千リットルで、令和5年度の使用量の9割程度となった(図1、表1参照)。新型コロナウイルスによる活動制限解除後に増えていた使用量が減少に転ずることとなったが、この理由として昨今の急激なヘリウム価格の上昇に伴い、利用者の方で使用控えが生じた可能性が考えられる。

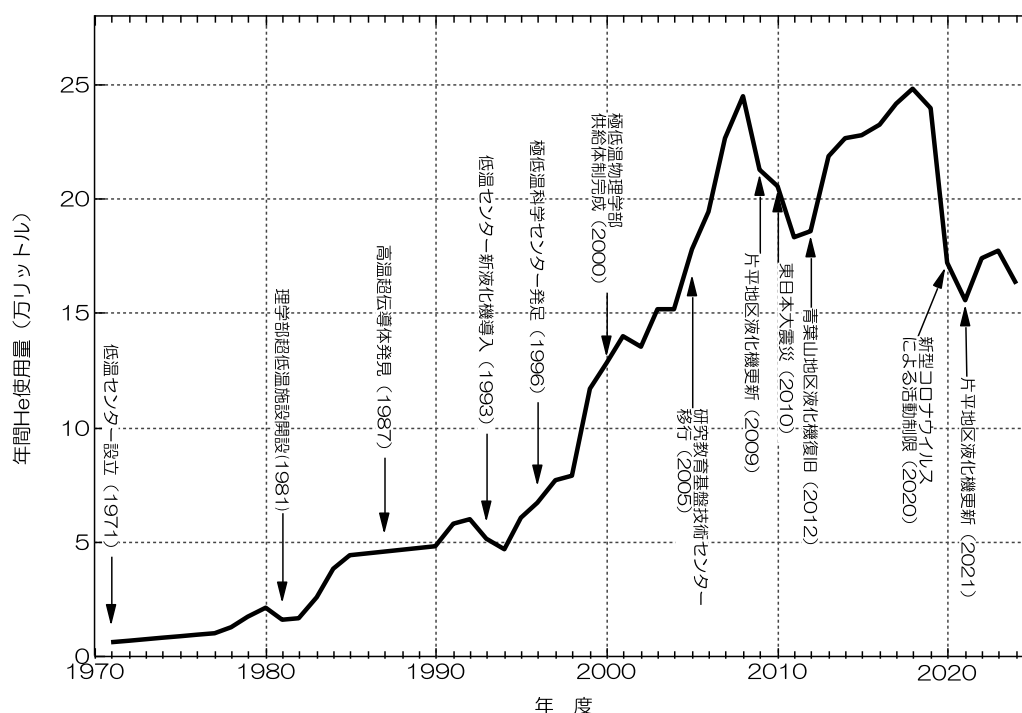


図1. 液体ヘリウムの年間使用量の推移

表1. 最近5年間の液体ヘリウム使用状況

部局名	(単位 リットル)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
理学研究科	33,949	43,297	45,677	45,981	41,292
薬学研究科	781	768	773	772	965
工学研究科	7,986	11,022	13,639	8,793	10,461
金属材料研究所	69,968	58,889	72,903	74,422	65,461
電気通信研究所	2,519	2,439	916	1,849	1,983
多元物質科学研究所	22,052	12,038	12,391	13,167	11,163
極低温科学センター	10,764	7,219	12,911	18,781	18,065
学際科学フロンティア研究所	127	228	195	—	—
材料科学高等研究所	19,531	16,703	10,309	10,324	8,457
東北メディカル・メガバンク機構	2,863	2,854	3,393	3,061	3,233
国際集積エレクトロニクスセンター	1,140	—	265	—	—
流体研	—	—	112	—	—
ナノテラス	—	—	—	—	1,794
合 計	171,681	155,457	173,484	177,150	162,874

3. 使用料金について

- ・使用料金は、ブロック（建物または研究科）ごとの回収率により決定されたヘリウム単価に使用量（使用前と使用後における液体ヘリウム容器内の液量の差）を乗じて算出します。
- ・無回収を前提として供給を受ける場合の液体ヘリウム利用料金は令和7年度において6,133円/リットル（令和6年度において6,013円/リットル）ですが、昨今の世界情勢により現在ヘリウムの調達が困難となっており、原則無回収を前提とした供給は行わないこととしております。
- ・回収率が100%を超えた場合はこれを100%とみなして計算します。

4. ヘリウム回収状況

学内平均の回収率は令和6年1月～令和6年12月の期間平均93%（片平地区：92%、青葉山地区：94%）でした。また運営委員会で承認された令和6年度における回収率に応じたヘリウム料金の計算式は

$$1 \text{ リットル当りのヘリウム利用価格(¥)} = 164 + 5849 \times \{100 - \text{回収率}(\%) \} / 100$$

となり、この方式により計算すると令和6年度前期（後期）の平均価格は573円/リットルとなった（R5年：578円、R4年前期(後期)：273(321)円、R3年：269円、R2年：331円）。

- ・料金、回収率、支払い方法についての質問は内線92-6478（青葉山地区）、内線91-2167（片平、星陵地区）までご連絡下さい。